

平成26年12月3日

全営業店に「認知症サポーター」を配置！

～認知症の方々とそのご家族を支える地域社会づくりに取り組みます～

株式会社 千葉興業銀行（頭取 青柳 俊一）は、全営業店（72カ店）に「認知症サポーター」を配置いたします。

平成26年12月19日までに全営業店の業務課行員・スタッフ約900名が、自治体を通じて派遣される講師のもと「認知症サポーター養成講座」を受講いたします。

認知症について正しく理解し、適切な対応を身につけ、認知症の方々とそのご家族へのサポートを充実させてまいります。また、各地域の包括支援センター等との連携により、認知症の方々とそのご家族を支える地域社会づくりへの参画にも取り組んでまいります。

当行は、これからも「地域とともに お客さまのために『親切』の心で」の企業理念のもと、すべてのお客さまに安心してご利用いただける店舗づくりに努めてまいります。

以上

～ 参考 ～

「認知症サポーター」について

厚生労働省は、「認知症を知り地域をつくるキャンペーン」の一環として「認知症サポーターキャラバン」事業を実施しており、全国キャラバン・メイト連絡協議会が「認知症サポーター」を全国で養成し、認知症になっても安心して暮らせるまちになることを目指しています。

「認知症サポーター」とは、「認知症サポーター養成講座」の受講修了者です。認知症を正しく理解し、認知症の人や家族を温かく見守る応援者となります。

認知症サポーターには、地域住民、金融機関やスーパーマーケットの従業員、小・中・高等学校の生徒など様々な方がおり、全国に540万人を超える認知症サポーターが誕生しています。

（平成26年9月末現在：全国キャラバン・メイト連絡協議会発表）